



長田中 学校だより

元気発信感動ながた



第106号 令和4年12月1日発行  
金沢市立長田中学校  
Email nagata-j@kanazawa-city.ed.jp  
学校ホームページURL  
http://cms.kanazawa-city.ed.jp/nagata-j/

\*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

## 12月は「師走」・・・

生徒のみなさん、早いものでもうすぐ今年も終わりです。1年を締めくくる12月は年越し準備で忙しく、「普段は落ち着いた先生ですら走ってしまう月」だから「師走」と呼ぶと覚えている人が結構多いのではないのでしょうか。「師走」の語源や由来には諸説あるそうです。

まずは言葉通り「師が走るから師走」とする説を2つ紹介します。

1つ目は「師＝お坊さん」という説です。昔の日本では、お正月前に祖先の霊を弔う習慣がありました。つまり、お坊さんにとって12月は大忙しな時期だったのです。読経のために、あちこちの家々を駆け巡っていたそうで「師が東西を馳せる」ことからこの時期が「師馳す」と呼ばれ、「師走」の語源になったという説になります。



2つ目は、師がそのまま「師匠」を指しているという説です。12月は偉い師匠さえも\*趨走するため、年末を「師趨（しすう）」と呼ぶようになったという説で、これが時代とともに変化し「師走」になったとされます。  
\*趨走：すいそう、チョコチョコ走る

次に「師が走らない」説です。まずは、総仕舞いの意味を持つ「仕極つ（しはつ）」が語源だという説です。「仕」は「仕事」を、「極」は「果てる（終わる）」を表します。仕事納めをする12月と「仕極つ」が結びつき、「師走」に変化したという説です。

また、最も有力とされているのが「当て字」説です。日本書紀や万葉集といった書物には、12月を指す言葉として「十有二月（シハス）」と記されています。2冊が編まれたのは奈良時代のことから、かなり歴史の古い言葉です。当時は数字で書いたものを「シハス」と読んでいたので「師走」は後にあてられた漢字だということになります。

このように、いろいろな言葉の語源や由来にはさまざまな説があります。気になる言葉があればぜひ調べてみてください。2学期もあと1か月、「向上期」の2学期を仕上げていきましょう！

## テスト・入試、卒業式など、カウントダウン！

受験にかかわる行事を中心に、大きな行事まであと何日かを数えてみました。3年生のみなさん、自分が思っているより、長いですか、それとも短いですか。数字に表すと実感が湧いてきて、より自分の事としてとらえることができます。

特にテストや入試は、残された時間をどのように使うかで、その結果は大きく変わってきます。

残された時間を確認し、見通しをもって取り組み、最大限の成果を上げてほしいと思います。受験は個人戦、でも受験勉強は団体戦です。

2学期終業式まで  
あと

22日

第2回統一テストまで  
あと

41日

私立入試まで  
あと

62日

公立入試まで  
あと

96日

卒業式まで

あと  
100日

